

## 都区協議会における区長会会長発言要旨（令和7年2月3日）

今年度の都区財政調整協議は、物価高騰による経済への影響など、都区を取り巻く財政環境の先行きを見通すことが難しい状況下での協議となった。

今回の協議は、都区間の配分割合を見直すという、大変重要な協議であったと認識している。

本件は、令和2年度財調協議から、協議を行ってきた。令和5年度財調協議では協議が整わず、令和4年度の協議を継続することとなった。都区のプロジェクトチームでの議論を経て、今年度の協議に移行することとなった。

足掛け6年にわたる検討となったが、都区双方で真摯に協議を継続してきた。そうした積み重ねの結果として、合意に至ったと考えている。

次に、特別区相互間の財政調整については、投資的経費の見直しなど、区側提案の多くを反映することができた。

このように協議の取りまとめに至ったのは、都区双方の努力の成果だと考えている。

今なお続く、物価高騰の長期化への対応や安全・安心なまちづくり、また少子・高齢化対策など、取り組むべき喫緊の課題が山積している。

今回の合意により、都と特別区がこれまで以上に連携を深め、東京の未来を共に創り上げていかなければならないと考えている。

今後も引き続きの課題などについて、都区が真摯に協議を重ねながら、課題の解決に当たっていくことを期待して協議案を了承する。